

2025 年 10 月 19 日 (日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい} 久宝教会

第 68 巻第 27 号 (通算 3464 号)

教会設立 1959 年 6 月 14 日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺 6 丁目 7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

ちい ひと
小さくされている人を
たいせつ きょうかい
大切にする教会



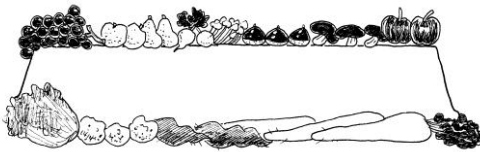
ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)



しゅうかくかんしゃれいはい

収穫感謝礼拝

せいれいこうりんせつ だい しゅじつれいはい
(聖霊降臨節 第20主日礼拝)



れいはい ちゅうけいはいしん
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

ぜんそう もくとう ちよさくけんしょうめつ
前奏 (黙祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しへん へん せつ
招きの詞 詩編 36編 6-7節

さんびか ばん か い しゅ ちよさくけんしょうめつ
賛美歌 21-387番「刈り入れの主を」(©著作権消滅)

せいしよ ふくいんしよ しょう せつ
聖書 マタイによる福音書 25章 1-13節

ほうけん かんしゃ いの
奉献と感謝のお祈り

さんびか ばん ばん ひかり しゅ たみ ちよさくけんしょうめつ
賛美歌 21-573番「光 かかげよ、主のみ民よ」(©著作権消滅)

メッセージ「備えよ常に」 うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

さんびか ばん おもに お もの ちよさくけんしょうめつ
賛美歌 21-432番「重荷を負う者」(©著作権消滅)

しゅ いの ばん てん ちち さんびかかいていいんかい
主の祈り 21-62番「天にいます わたしたちの父」(©讃美歌改訂委員会)

ささげもの
献げ物 (*)

は けん ばん かみ めぐ う せつ
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅく ふう うしだ ただし ぼくし
祝福 牛田 匡 牧師

こうそう ばん きょうだんさんびかいいんかい
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讃美歌委員会)

ほうこく ページ さんしょう
報告 (4頁をご参照ください)

せき すわ れいはい さんか
《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

うけつけ けんきんばこ
* 受付に献金箱がございます。

ささげもの けんきん ようい かた ささ
「献げ物 (献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

⁶主よ、あなたの慈しみは天にあり

あなたのまことは雲にまで及びます。

⁷あなたの正義は神の山々のよう

あなたの公正は大なる深淵。

主よ、あなたは人も獣も救ってくださいます。

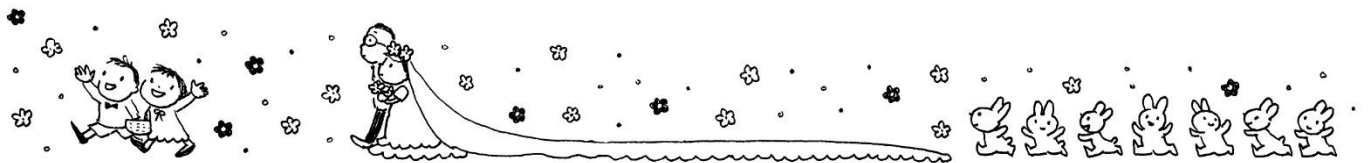
聖書

マタイによる福音書

25 章 1-13 節 (聖書協会共同訳)

¹「そこで、天の国は、十人のおとめがそれぞれ 灯^{ともしび} を持って、花婿^{はなむこ}を迎えに出て行くのに似ている。²そのうちの五人は愚かで、五人は賢かった。³愚かなおとめたちは、灯^{ともしび} は持っていたが、油の用意をしていなかった。⁴賢いおとめたちは、それぞれの 灯^{ともしび} と一緒に、壺^{つぼ} に油を入れて持っていた。⁵ところが、花婿の来るのが遅れたので、皆うとうとして眠ってしまった。⁶真夜中に『そら、花婿だ。迎えに出よ』と叫ぶ声がした。⁷そこで、おとめたちは皆起きて、それぞれの 灯^{ともしび} を整えた。⁸愚かなおとめたちは、賢いおとめたちに言った。『油を分けてください。私たちの 灯^{ともしび} は消えそうです。』⁹賢いおとめたちは答えた。『分けてあげるにはとても足りません。それより、店に行って、自分の分を買って来なさい。』¹⁰愚かなおとめたちが買いに行っている間に、花婿が着いた。用意のできている五人は、花婿と一緒に祝宴の間に入り、戸が閉められた。¹¹その後で、ほかのおとめたちも来て、『ご主人様、ご主人様、開けてください』と言った。¹²しかし主人は、『よく言っておく。私はお前たちを知らない』と答えた。

¹³だから、目を覚ましていなさい。あなたがたはその日、その時を知らないのだから。」



「本当の正しさ」

牛田匡牧師

聖書 マタイによる福音書 20 章 1-16 節

ぶどう園の主人は、夜明けとともに広場に行き、労働者たちと 1 日 1 デナリオンの契約をして収穫作業のためにぶどう園に送りました。その後も 9 時、12 時、それから午後 3 時、5 時と広場に行って、新たに労働者たちを雇い、ぶどう園に送りました。夕方になって作業が終わり、賃金の支払いが始まると、夕方 5 時頃に来て 1 時間程しか働いていない人たちが 1 デナリオンを受け取っていましたので、朝から丸一日働いていた人たちは、もっと沢山もらえんと思っていたのにもかかわらず、同じ 1 デナリオンでした。彼らは主人に不平を言いましたが、主人は答えました「不当なことはしていない。あなたは私と 1 デナリオンの約束をしたのではないか」と。このお話は「天の国は次のようにたとえられる」という言葉と共に、世の価値観とは異なる神の価値観として、いわゆる時給ではなく、一人一人の人の命を養うパン、最低限の日当が全ての人に無条件に恵みとして等しく与えられている、というように読まれて来ました。しかし、本当にそうなのでしょうか。そもそも農業の繁忙期には人手が必要ですから、1 デナリオンというのは命を繋ぐ最低限の日当よりは高額に設定されていたでしょう。そのことを考えると、むしろ「あなたに不当なことはしていない」と語る主人の方が、不平を言う労働者よりも冷酷で、労働者たちに対して不当な仕打ちをしているように思われてなりません。

冒頭の言葉のギリシア語の原文では「たとえられる」「似ている」「比べられる」は全て同じ言葉です。これまでは「天の国の主人＝神様」という理解で読まれることが多くありましたが、むしろ「天の国の価値観というものは、このようなぶどう園の主人と比べられるものだ。比べてみるとどうだろう」という意味で読めるのではないかと思います。イエス様は「こんなぶどう園の主人(雇い主)がいたらどうだろうか。比べて考えてごらん」と、人々に問いかけられたのではないのでしょうか。そのように考えると、このお話の結論は、朝から晩まで暑い中を一日中働いた人たちと、夕方から一時間だけしか働かなかった人たちが、共に主人の言いなりになっているような不当は許されてはならないということです。今この社会では、権力を持つ「主人」が、人の上に立ち「自分の物を自分のしたいようにして」、庶民をないがしろにしている。しかし、来るべき天の国、神の価値観に基づく、本当の正しさとは、全ての人々が労働を侮られず、自尊心を傷つけられず、存在そのものを尊重されて、生活に必要な糧を得られる世界にこそあるものなのではないかと思います。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025 年 10 月 12 日 神学校日礼拝

礼拝出席 大人 4 人 献金 3,000 円 中継視聴者数 18 回 感謝

◎次週 2025 年 10 月 26 日（日）降誕前第 9 主日礼拝

招きの詞 創世記 2 章 18 節

聖書 マルコによる福音書 10 章 2-12 節

メッセージ「平和に生きる。孤独よりつながり」牛田匡牧師

賛美歌 こ改-112 番(©出版局)、21-104 番(©JASRAC)、21-413 番(©JASRAC)



◎お知らせ

- ・本日の「収穫感謝礼拝」に献げられました収穫物は、釜ヶ崎支援のために、いこい食堂に献品致します。なお、礼拝後には併せて、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」も行い、いこい食堂にお届けする予定です。どなたでもご参加ください。先日、「おにぎり支援」のために、お米の献品を頂きました。どうもありがとうございます。引き続き、献品や献金もいつでも歓迎いたします。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ（全文）」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分を YouTube でご覧いただくことも可能です。
- ・11 月 1 日（土）15 時～17 時にかけて、釜ヶ崎にある「旅路の里」（南海・萩之茶屋駅、JR／南海・新今宮駅、大阪メトロ・動物園前駅下車、徒歩）にて、「宋富子（ソン・プジャ）さんの証しを聴く会」が開催されます。今年 3 月の NHK「こころの時代」でも取り上げられた宋富子さんが、大阪に来られてお話をします。事前申込みは不要です。参加費は無料ですが、会場費・講師応援のためのカンパへのご協力をお願いしています。
- ・11 月 1 日（土）9 時半～12 時半にかけて、大阪市生野区にある大阪朝鮮初級学校にて、大阪教区日韓宣教協約特別委員会主催の交流会「来て見て知って朝鮮学校」が開催されます。大阪府・大阪市が朝鮮学校の補助金を全て停止し、学校の運営は厳しさを増しています。しかし、この状況の中でも生き生きと明るい笑顔で学び育つ子どもたちを多くの方々に知って頂きたく公開授業と交流会を企画しました。参加費無料です。どなたでもご参加ください。カンパお願いあり。

◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
10/26	牛田匡牧師	誕生者祝福式
11/2	牛田匡牧師	召天者記念礼拝 13時半～ 王寺墓地・墓前礼拝 14時半～ 第二好意の庭 召天者記念礼拝
11/9	牛田匡牧師	
11/16	牛田匡牧師	(15時～ 教区王寺墓前礼拝(岡本牧師))

ソン プジャ あか

宋 富子さんの証しを聴く会

心を一つに、思いをつくって、主なるあなたの愛を、自然な愛のようにあなたの隣人を愛さなければならぬ。主の愛に、心から感謝いたします。

参加費として皆様からの協力（カンパ）をお願いしております。

日時 2025 年 11 月 1 日（土）

時間 15:00～17:00

場所 旅路の里（イエズス会社会司教センター）

私は31歳まで在日朝鮮人に生まれた事を恥じて苦悶の淵に落ちたが、1人の人との出会いでキリスト教に導かれ、日本と朝鮮半島の真実の歴史を知り目覚めた。在りのままの自分が一番ステキなんだと悟りました。現在84歳ですが、信仰をもってからの53年間の希望の人生を証し、お話しします。

問い合わせ 西成教会 松村 080-6151-3042 (つながらない時は留守電に入れて下さい)

旅路の里 〒557-0004 大阪市西成区 萩之茶屋2-8-5 GoogleマップのQRコード

Special Guest

皆様との新しい出会いを創って下さいましたイエズス様に、心から感謝いたします

ソン プジャ 宋 富子 (川崎市在住)

来て見て知って 朝鮮学校 2025/11/1（土） 09:30 - 12:30

民族学校ってどんなところか、まず一度来てみませんか。そのような思いを込めて公開授業と交流会を企画しました。大阪府・大阪市が朝鮮学校の補助金をすべて停止し、学校の運営は厳しさを増しています。しかしこの状況のなかでも活き活きと明るい笑顔で学び育つ子どもたちを多くの方々に知っていただきたいと願っています。

「来て」「観て」「知って」そして出会い「感じて」みませんか。美味しいオモニ手作りの昼食も用意し、楽しい交流の時を持ちたいと思います。

プログラム

09:30～受付
09:50～10:35 公開授業、公開授業、教材や作品の展示
11:00～12:00 公演、シンポジウム
12:00～12:30 昼食交流会

大阪朝鮮初級学校

千日前線南森町駅2番出口から徒歩約10分、北森駅5番出口から徒歩約15分
〒544-0012大阪府生野区南森3-14-16 Tel.06(6758)0848

会場下千日前線北森駅下車5番出口から徒歩約10分
会場下千日前線南森町駅下車2番出口から徒歩約10分

主催 日本キリスト教団大阪教区日韓宣教協約特別委員会
チョンハッキョを楽しく支える生野の会
大阪朝鮮初級学校大阪朝鮮初級学校

連絡 森地 090-2384-9061

参加費無料
どなたでもご参加ください。
(カンパお願いあり)